

新規高等学校卒業予定者の募集職種について(技術系)

【生産技術領域】

業務領域

クルマの設計データを基に、現実の形あるクルマとして、月々数百台から数千台規模で生産可能にする生産方式を考案し、生産ラインを構築する。

業務内容

クルマはその機能を果たすために、数万点の様々な形状や材料の部品から成り立っています。お客様の期待に応え、喜んでいただけるクルマ作りでは、新しい機能材料や高品質な部品が必要になります。クルマをお客様が納得していただける価格で提供するために、様々な加工・組立方法の改善や新規開発に取り組んでいます。また、クルマ造りのプロセスでは、地球環境・地域環境・作業環境を考え、地球に優しく、そして人に優しいクルマ造りを志向しています。そして、そのクルマ造りは「もうこれで良い」というものではなく、常により良いクルマ造りを追求し続けています。これが生産領域のエンジニアの使命です。

第6回ものづくり日本大賞(内閣総理大臣賞)を受賞
揮発性有機化合物とCO²を同時削減する新塗装技術
「アクアテック塗装」

塗装工程の工程革新と塗料の機能集約により、塗料やエネルギーなどの資源効率を飛躍的に向上。さらに、この技術をカラー開発にも用いる事で、Body Color:ソウルレッドプレミアムメタリックに代表される高意匠カラーを実現するなど、環境/品質/経済性の相反する課題を総合的に解決。アクアテックのものづくり革新技術は、自動車塗装工場にとどまらず、塗装業界全体へ広く普及することが期待される。

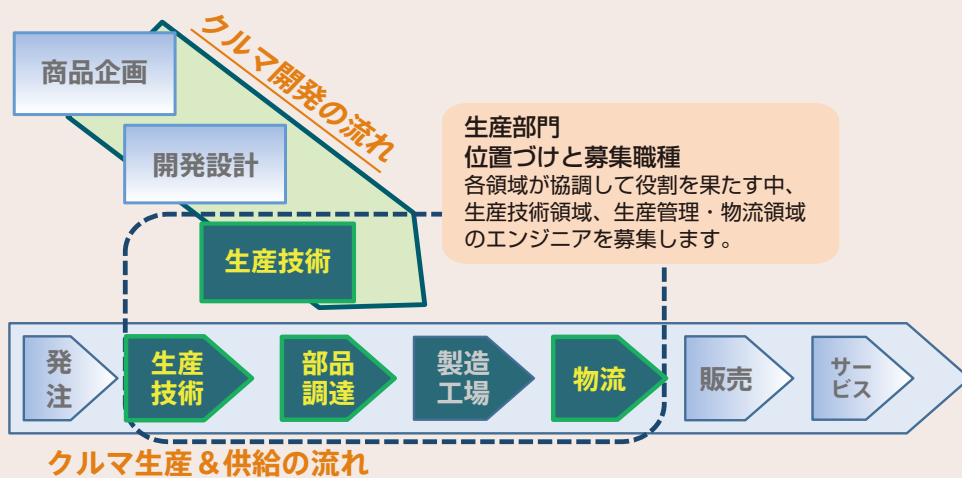


Body Color:
ソウルレッドプレミアムメタリック

生産部門の役割

開発領域からの商品デザイン・設計データを基に、現実の形ある車として、バラツキなく生産できるよう準備(開発の流れ)し、お客様からの注文を基に、一台一台クルマを生産(生産・供給の流れ)し、お客様に商品をお渡しできるようにする役割を持っています。生産部門は、クルマ造りの2つの流れ「開発」と「生産・供給」双方の中心に位置し、モノ造り全体を見渡して、お客様価値提供に向けた提案を行っています。

モノ造りの流れ～クルマの「開発」と「生産・供給」

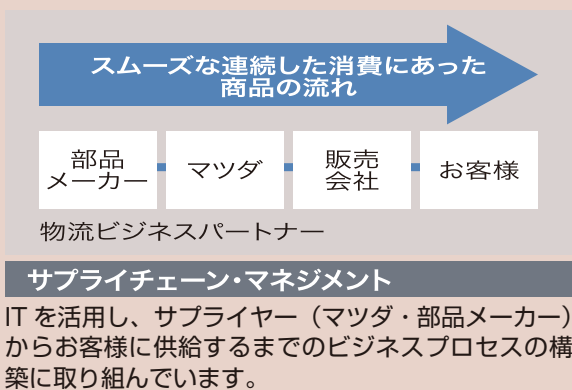


【生産管理・物流領域】

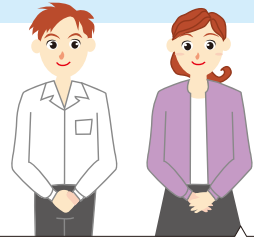
業務領域

車両・用品の生産から販売に至るあらゆる物流を一元的に統括管理し、生産・物流・販売をトータルで見ても最も効率的に市場に商品をお届けすることおよび、構築した物流ネットワークにより経営戦略の新規展開を可能にすることを目指しています。

業務内容



クローズアップ! マツダ 技術系



08:15
09:00

出社

《就業時間》

生産管理・物流 領域 08:15～17:00

生産技術 領域 09:00～17:45



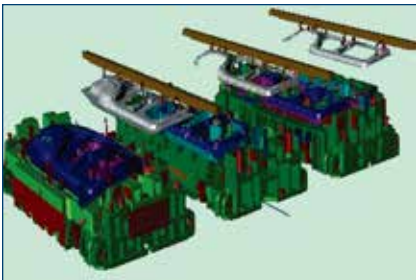
生産技術、生産管理・物流部門で働く社員のある一日、MAZDA DAYに密着!

出社してパソコンを立ち上げ、スケジュール帳に目を通しながら一日の大まかなスケジュールを立てます。



メールチェック

関連部門、取引先からの問合せメールに返信します。



シミュレーション用データの作成

シミュレーション用データを作成。

3次元CADを使い、他社にないデザインを実現させるため、様々な成形方法を考えて設計・修正を行います。マツダではこのように、デジタル革新 (MDI) 即ちバーチャルな設計・テストを用いることで、短時間で高品質なモノ作りを進めています。



データ作成



打ち合わせ

確かな仕事のために、内外の関係者と打ち合わせを行います。



12:00
昼食



先輩と机を囲んで楽しいランチタイム。

昼食はマツダリビング(社内売店)で

パンとサンドイッチを購入しました。

マツダリビングでは、カード型社員証を提示して

キャッシュレスショッピングをすることが可能です。

生産技術 領域



工場へ行き、現物を見ながら、データと比較し確認を行います。

生産管理・物流 領域



計画通り作業が進行しているか、現場で確認します。



17:00
17:45

退社



今日は全社一斉定時退社日なので、定刻に退社します。愛車に乗って、帰宅。明日も一日頑張ろう!

